



金ケ崎町子育て支援センターちびっこひろば

ちびっこひろばだより10月号



令和2年10月1日(木)発行
 社会福祉法人愛護会 金ケ崎町子育て支援センター
 金ケ崎町西根高谷野原1072 Tel 44-3365 Fax 34-3700
[Eメールkosodatesien@aigokai.jp](mailto:kosodatesien@aigokai.jp) (ファックス番号が変更になりました。)



田んぼの稲も黄金色に色づき、実りの秋を迎えようとしていますね。気温もぐっと下がり、肌寒さを感じるようになりました。気温の変化に気を付けて、体調を崩したりしないように過ごしたいですね。

さて、子育て支援センターで育てていたサツマイモもそろそろ収穫の時期が近づいてきました。お天気のいい日に、さつまいも掘りが出来たらいいなあと思っています。今年のおいもは、いっぱいとれるかな...

《10月の行事とお知らせ》



月	火	水	木	金	土
			1	2 びよびよ 保健指導員相談日	3
5 	6	<div style="border: 2px solid pink; border-radius: 15px; padding: 5px;"> チューリップ広場開催日となります。対象のお友達以外の利用はできません。 </div>	8 午前 チューリップひろば 	9 とことこ	10
12 永岡サークル 「ながままサークル」	13		14 南方サークル 「はあと♥ママ」	15 三ヶ尻サークル 「こっこクラブ」	16 びよんびよん
19	<div style="border: 2px solid pink; border-radius: 15px; padding: 5px;"> チューリップ広場開催日となります。対象のお友達以外の利用はできません。 </div>	21 午前 チューリップひろば 	22	23	24
26 		27	28	29	<div style="border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 5px;"> 金ケ崎町子育て支援センターは ☆ 月～土曜日まで(祝祭日は除く) 10時～16時まで無料開放しています。 ☆ 子育てについてのメール・電話相談を受け付けております。 お気軽に、ご利用ください。 </div>

＜10月の主な行事＞ (10時30分頃～11時30分頃まで)

- ☆10月 2日(金) びよびよ(主に0歳児対象)
保健指導員相談日
- ☆10月 9日(金) とことこ(主に1歳児対象)
- ☆10月 16日(金) びよんびよん(主に2・3歳児対象)



- 金ケ崎町子育て支援センターの利用について

 - ・マスクの着用をお願いします。
 - ・来所時の健康確認、検温をお願いします。
 - ・お弁当の持ち込みは、お休みとなっています。

ご協力をお願いします。

子育て支援センターでは、子どもさんとの楽しいあそびの時間、あそびの場を提供しています。新型コロナウイルス感染防止の対策については、利用者の皆様のご協力をいただき開所しているところです。

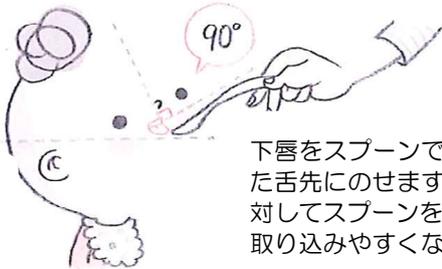
新しい生活様式をうけ、施設の利用者が多数となった場合は、利用の制限をさせていただくことがあります。ご不便をおかけいたしますがご理解、ご協力をお願いいたします。

月齢や年齢別のかかわりのポイントをご紹介します。

6か月～1歳3か月ごろのポイント（離乳食の進め方）

5～6か月頃が開始の目安です。

口を閉じて食べ物を飲み込む反射がでる位置まで送り、飲み込むことを覚えます。



下唇をスプーンで刺激し、出てきた舌先にのせます。子どもの顔に対してスプーンを直角に入れると、取り込みやすくなります。

はじめて食べる食品は、一さじずつ与え、子どもの様子を見ながら、量をふやしていきましょう。

7～8か月頃

上下の唇を使って食べ物を取り込み、舌と上あごでつぶしてから飲み込むことを覚えます。



下唇をスプーンで刺激し、上唇が閉じるのを待ちます。閉じたら上下唇で食べ物を挟み取るように促してあげます。慣れてきたら、子どもが自分からスプーンに口を持ってくるまで待ってみましょう。

9～11か月頃

奥の歯ぐきでつぶすことを覚えます。



少し丸みのあるスプーンを使いましょう。

食べ物を唇で挟み取り、舌で奥の歯ぐきに送っているか、しっかり噛んでつぶしているかを口の動きを見て確認してみましょう。

12～18か月頃

唇や口角を自由に動かし、奥歯で噛めるようになります。口に詰め込みすぎたり、食べこぼしたりしながら、一口の量を自分で覚えていきます。



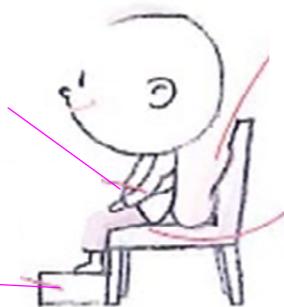
手づかみ食べを中心に自分で食べることを大切に、様子を見ながら介助してあげます。子ども用のスプーンを用意し、食具への興味も促していきましょう。

Pointo

食事の時の姿勢も大切になります。
姿勢を確認してみましょう

テーブルは、ひじより高くないようにしましょう。

足が床につかなければ、台を置くと足がぶらぶらせずに安定します。



クッションを入れて背中がいつの背もたれにしっかりつくようにしてあげましょう。

腰がしっかりといつの座面に合うようにしてあげま

姿勢が悪いと食事の間すわっていることにつかれてしまい、なかなか食事が進まない、機嫌が悪いなどにつながってしまいます。また、あそび食べや立ち歩きといったことも見られるようになります。

子どもがリラックスして楽しく食事ができるようにしてあげましょう。

食事中は、気が散らないようにテレビ等は、消すようにするのが好ましいです。家族との会話を楽しめるといいですね。